

# 四年生 国語編

○五十音、および五十音図について、次の問いに答えましょう。「行」を答える場合は、「ア行」のように、カタカナで答えましょう。

- (一) 清音の一部がぬけている行をすべて答えましょう。
- (二) 濁音のある行をすべて答えましょう。
- (三) 半濁音のある行をすべて答えましょう。
- (四) 拗音のない行をすべて答えましょう。

※清音、濁音、半濁音、拗音とはなんでしょうか？思い出すまたは覚えていきましよう。

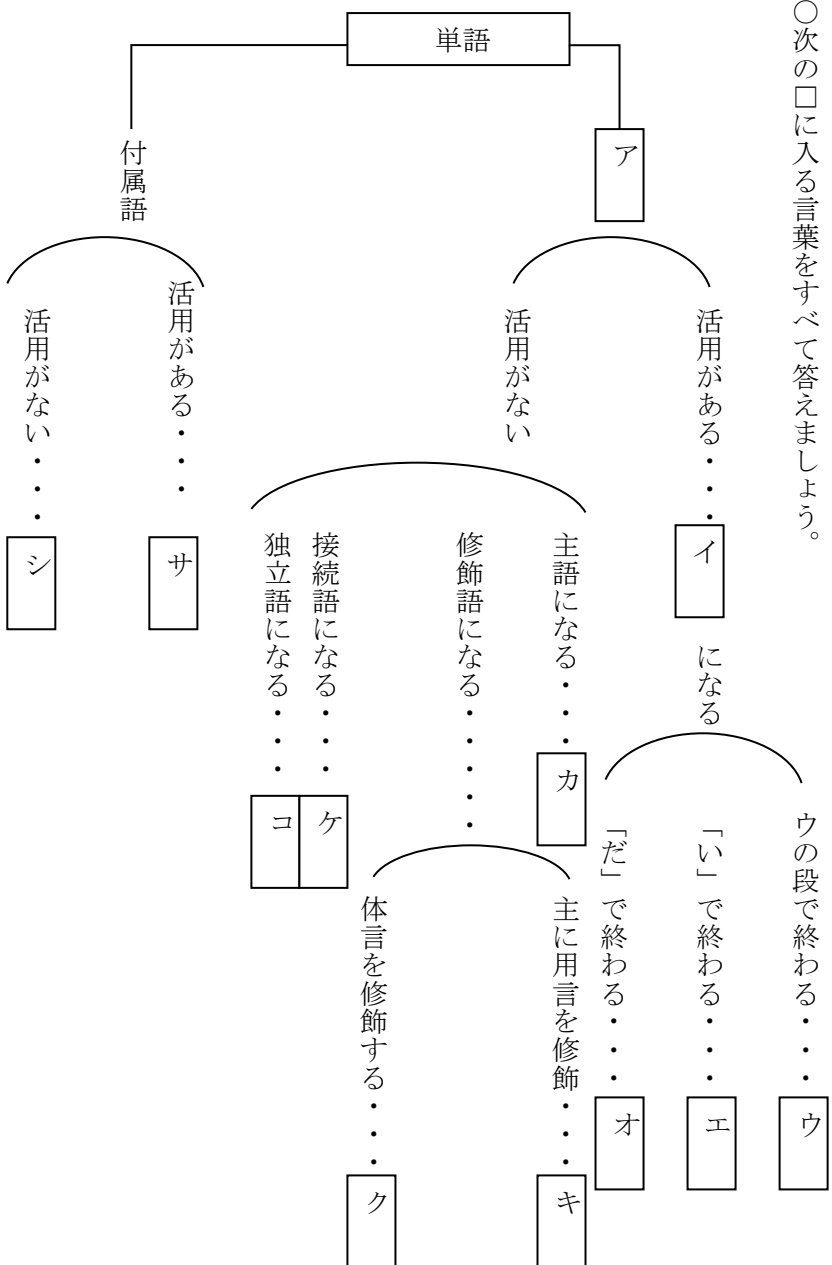
○例にならって、「五十音図」を使った次の「足し算」のできる言葉をカタカナで答えましよう。

例：カ行・ア段＋カ行・イ段＝カキ

- (一) タ行・ア段＋ナ行・ウ段＋カ行・イ段＝???
- (二) タ行・エ段＋ラ行・エ段＋バ行・イ段＝???

# 五年生 国語編

○次の□に入る言葉をすべて答えましよう。



※この表をうめるのはもちろんのこと、これらのことを踏まえながら文章問題を解くことが多いので、確実に身につけておきましょう。

## 六年生 国語編

○次のそれぞれの文中の傍線部のかなづかいが正しいければ○、まちがえていれば×にし、正しい答えを書きましよう。

- (一) おそろしくて、命がちじむような思いをした。
  - (二) 温暖化のため、南極のこおりが解け始めている。
  - (三) この問題は、私にはとてもむずかしい。
  - (四) いなかの祖母からこづつみがとどいた。
  - (五) 表どうりは、今日も買い物客でにぎわっている。
  - (六) ぢしんにそなえて食糧を貯蔵する。
  - (七) おおやけの場での礼儀作法を身につける。
  - (八) いもおとを連れて、図書館に行った。
  - (九) 友人は不在だったので、ことずてをたのんだ。
  - (十) 法律にもとづく判断に従う。
- ① 旅先からおとおさんとおかあさんに手紙を書いた。
- ② 決勝戦の日がまじかにせまった。
- ③ 夏休みに、古都・奈良をおとづれました。
- ④ 箱の中にももちやをほおりこんだ。
- ⑤ みかんのかんずめをいただきました。

○次の1～15の傍線部を漢字に直しましょう・必要ならば送り仮名もつけること。

- 1、あやういところで助かった。
- 2、おさない弟の手を引く。
- 3、健康をそこなう。
- 4、無駄に時をついやす。
- 5、ただちに出発せよ。
- 6、東の空があからむ。
- 7、かならず返事を下さい。
- 8、ほがらかに歌う。
- 9、おごそかに儀式が始まる。
- 10、ことなる意見を尊重する。
- 11、あぶない橋を渡る。
- 12、老いた両親をやしなう。
- 13、燃料をおぎなう。
- 14、田畑をたがやす。
- 15、味方のあいずを待つ。

※ここまでの内容は、ミスはあっても1問程度にしましょう。漢字では落とさない！ここを満点で行くかどうかは、受験の中でもかなり大事になってきます。